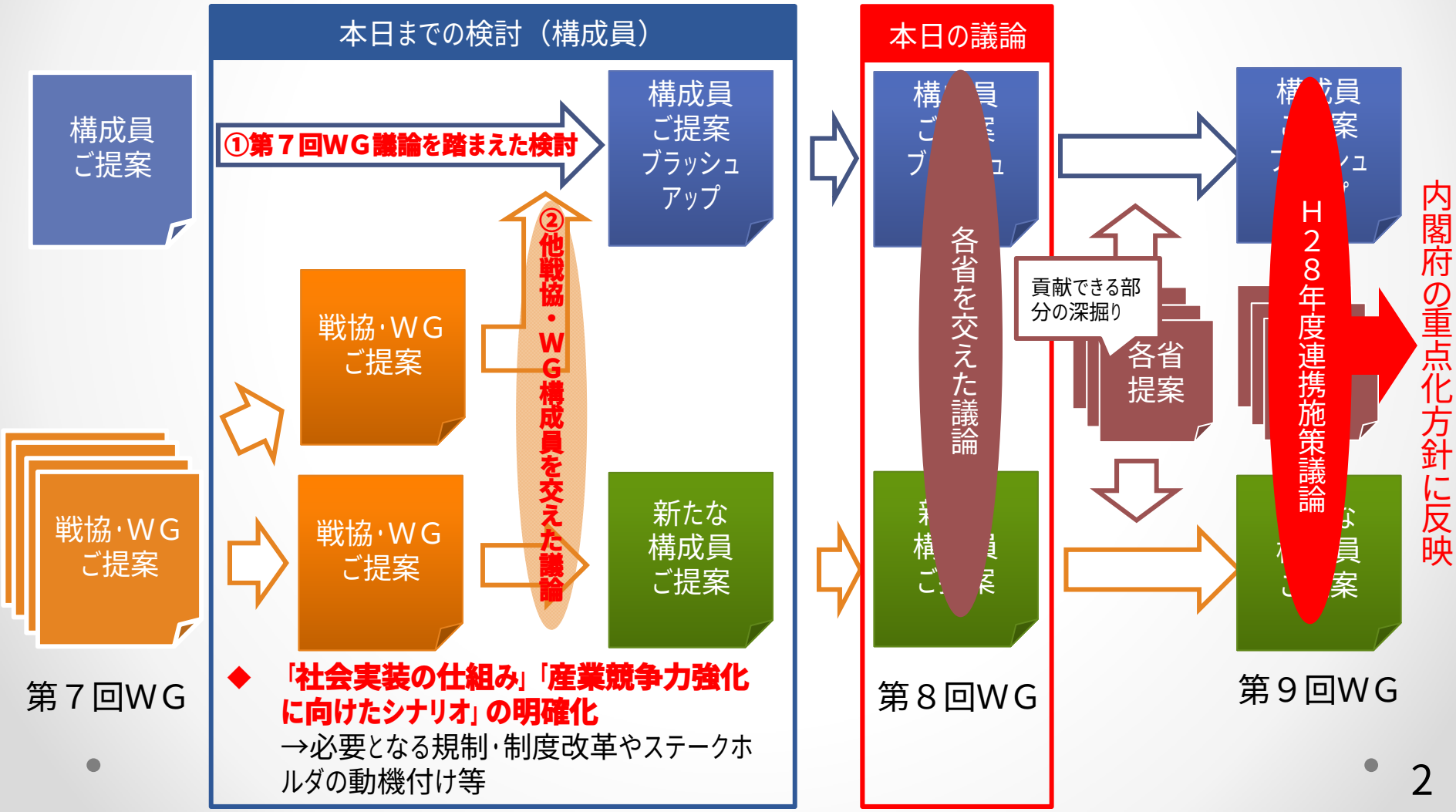
【参考資料3】
第8回ICT－WG　資料1－2

議論の進め方および
システム化検討状況について

平成２７年２月１７日
ＩＣＴ－ＷＧ事務局

課題解決に向けたシステム化検討の進め方について

◆各省におけるＨ２８年度概算要求前に、専門家（構成員）の知見をもとに議論を深め、内閣府の重点化方針への反映を図る



各グループからのシステム提案について

領域	システム提案	参考とした戦略協議会・WGからの提案
（1）社会経済活動へ貢献するための知の創造	介護のパーソナライズ化	
	重要社会インフラの安定稼働	
	コンパクトシティ（農業）（取り込み）←	地域資源１，４
	ものづくり（新規）	地域資源７
	マテリアルズインフォマティクス（新規）	ナノ材１，２，３，６，９，１０，１１，１２，１４，１５
（2）個々人が社会活動へ参画するための周囲の環境からの支援	多言語翻訳システム	
	空間映像システム	
	ヘルスケア・モニタリングシステム	
	自律型モビリティシステム ？	
	屋内シームレス測位システム（新規）	次世代インフラ７
	高性能・高品質な製品の効率的な生産を支えるイノベーション ？	
	つながる「地域ー企業ーユーザー」を実現する情報技術（新規）	地域資源７，１０
	農業におけるビックデータ解析・経験値を加えたモデル構築（新規）	地域資源２
	ビッグデータ解析・経験値を加えたモデル構築システム	
（3）新たな価値を提供するためのより高度な基盤・ネットワーク	スマートシティ（新規）	エネルギー１
	インフラ維持管理の高度化（新規）	次世代インフラ１７

【参考】第7回ＩＣＴ－ＷＧでの主な議論内容について

（１）社会経済活動へ貢献するための知の創造

- ◆ ありたい姿実現のために求められる具体的な仕組みを描く必要があるのではないか。
- ◆ ＳＩＰのように、技術開発から社会実装まで、必要となる法制度整備も含めた観点でどう進めるかの検討が必要ではないか。

（２）個々人が社会活動へ参画するための周囲の環境からの支援

- ◆ 現在どのような社会課題があって、そのBefore/Afterがどうなるかを考えるべきではないか。
- ◆ ビジネス化を考えるのであれば、民間に移行する形が必要。ビジネスモデルまで考慮すべきではないか。
- ◆ 最終目標が明確なものと、そうでないものが見受けられる。たとえば、他言語翻訳では使うところ、シーンでスペックが変わる。どこから使っていくかのストーリーの検討が必要ではないか。

（３）新たな価値を提供するためのより高度な基盤・ネットワーク

- ◆ 技術と社会展開のフェーズを踏まえた、オープン・クローズ戦略をよく考えるべきではないか。
- ◆ 財政破綻の懸念を考えると、国だけではなく、個人の視点から社会を変革させるという考え方も含めるべきではないか。
- ◆ 日本として強くする分野（エネルギーやインフラ等）にＩＣＴがどう貢献できるかを具体的に議論すべきではないか。